

School Life (防災訓練参加)

新宮市立医療センターで2月10日(土)に大規模地震を想定した訓練が行われ、1年生が傷病者役、ボランティア役として参加しました。

訓練は平日の朝に大規模地震が発生したという想定で開始されました。傷病者役の学生はあらかじめ提示されていた傷病状態(足を負傷、頭部から出血、気分不良など)になり、救急車で搬送される者と自力で受診する者の設定傷病者となりました。トリアージの場面では、名前、年齢、性別、居住地、受傷状況、現在の症状を答え、その後はスタッフの指示に応じ必要な処置を受けました。また、ボランティア役の学生は学校から駆けつけ手伝いを始めるという設定で、センターに押し寄せる傷病者等の搬送や物品輸送、受け入れ指示本部などでスタッフの指示のもと行動しました。

それぞれの学生は与えられた役割を果たしながら、大規模地震発生後に病院施設に傷病者受け入れ場が設置され、受け入れ状況を見学させて頂きました。傷病者受け入れ時に医師、看護師他のスタッフが問診、移送、連絡、指示を円滑に行っている姿は刺激的であったように思います。そして、訓練終了後は、各エリアの反省会と訓練全体での総評にも参加させていただきました。

自身が目指す看護師が天災時にはどのような役割を果たす必要があるのかを考える機会になったと思います。

日頃の学習では経験できないことをこの訓練に参加させていただき気づき、感じ、考え、学びとなったと思います。

